

様式 A-1

(FY2022)

令和4年 6月 20日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名： 静岡県立沼津東高等学校 教諭 山田 孝
2. 講師氏名： Dr. Marc EISENMANN
3. 講義補助者氏名： 鷺見 貴生 先生
4. 実施日時： 令和4年 6月 17日 (金) 15 : 10 ~ 16 : 35
5. 参加生徒： 1年生 47人、 2年生 40人、 3年生 0人 (合計 87人)
備考： (理数科の生徒は 78名、普通科 9名)

講義題目： 「KAGRA : A new window to observe the Universe」 (宇宙を観る新しい窓)

6. 講義概要：「米国の2つのLIGO重力波観測施設がこの重力波を観測し、重力波天文学の誕生という宇宙観測における新しい一歩を記した。それ以来、イタリアのV i r g o天文台が共同研究に加わり、90以上の重力波信号を観測している。今年の12月からは岐阜県にある日本のK A G R Aも国際協働に参加し、併せて1500人の研究者がさらなる重力波の観測に携わることになる。天文学が我々の宇宙の理解に革新をもたらしたように、重力波の研究は、まだ我々を驚かすたくさんのもを秘めている。」このような話の内容とブラックホールについて、パワポと実験装置や小道具を使いながら説明した。
7. 講義形式：
対面 ・ オンライン (どちらか選択ください。)
- 1) 講義時間 85分 質疑応答時間 15分
- 2) 講義方法 (例：プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)

SD

※弊会記入欄

プロジェクター使用による講義であり、スライドと動画を使用。また、レーザー発生器を使用し
ての実演もあった。

3) 事前学習

有 ・ 無 （どちらか選択ください。）

使用教材 講師から事前に提示されたキーワード

8. その他特筆すべき事項：

理解しやすいスライドや機材や小道具を駆使して頂き、講義内容を生徒は理解することができ、生徒の満足度は高いと思われる。

また、講義補助者の先生も実験の場面ではヘルプに入ってください、補助者として、的確な運営に御尽力して頂いたおかげで、会が充実したものとなった。